

平成24年産 津南町認証米 栽培管理記録簿

農林水産省新ガイドライン基準適合栽培

新潟県津南町慣行栽培基準に対し、節減対象農薬の使用回数及び肥料の化学合成チッソ成分量が5割以下



生産者No.	J0019	品種名	コシヒカリBL	栽培面積	228 a
圃場筆数	4筆	栽培協定	済	圃場設置及び管理 現地確認月日(月/日)	7/19, 9/12

栽培及び確認責任者 津南町農業協同組合 営農部 営農センター

最終確認 平成24年11月20日 湯沢利夫

《 耕種概要 》

区分	内容	附記			
育苗管理	種子更新	確認済 湯濁済			
	導入先	JA 種子もみ 210 Kg 確認済			
	JA以外	種子もみ 苗			
	播種月日(月/日)	4/17~4/18			
本田管理	育苗様式	中苗			
	田植	時期(月/日) 5/26~5/29 植付株数 70株/坪			
	生育調整	溝切り(月/日) 6/27~7/6 中干し(月/日) 6/25~7/6			
	出穂期(月/日)	8/10~8/15			
	倒伏	時期 程度 無			
	収穫	時期(月/日) 9/25~10/2			
	生育期間での畦畔への除草剤使用	未使用 確認済			
	作業形態	自己			
	選別網目	1.90 mm 確認済			
	乾燥・調整	10a当たり収量	622 Kg		
1等米比率		100 %			
作柄・品質		月/日	出荷量(30kg圓)	検査等級	玄米タンパク値(%)
		09/28	42	1等	5.7
		09/28	42	1等	5.7
		09/28	42	1等	5.7
		09/28	42	1等	5.7
		09/28	42	1等	5.7
		09/28	42	1等	5.7
		10/03	42	1等	5.7
	10/03	84	1等	5.6	
	10/03	84	1等	5.7	
10/04	11	1等	5.7		
計	473		5.7		

《 農薬資材使用概要 》

区分	資材名	使用時期(月/日)	使用量または倍率		処理方法	成分回数	成分名
			箱当たり	10a当たり			
育苗	タフブロック	4/10	200倍		48時間浸漬	0	タロマイセスフラバス(カウントなし)
	タチゲレン粉剤	4/7	6g		床土混和	1	ヒドロキシインキザール
本田	Drオリセスターク箱粒剤	5/23		50g	箱施用	2	プロベナゾール ジノテフラン
	ヤイバ豆つぶ250	6/4		250g	散布	2	フェントラザミドピリミスルファン
後期殺菌	撒粉ボルドー粉剤DL	7/28		3Kg	散布	0	塩基性硫酸銅
	ブラシンゾル	8/21		8倍	0.8リッター/坪散布	2	フェリムゾンフラサイド
	MR.ジョーカーEW	8/21		16倍	0.8リッター/坪散布	1	シラフルオフェン
	計					8	

《 肥料資材使用概要 》

区分	資材名	使用時期(月/日)	使用量		10a当たり成分量(Kg)				
			箱当たり	10a当たり	チッソ		りん酸	カリ	その他
					全量	内化学合成			
育苗	魚沼培土		2800g	56 Kg	0.03	0.03	0.03	0.03	10a培土同様の肥料使用
	くみあい液肥2号		10g	0.2 Kg	0.02	0.02	0.01	0.02	
本田	高度ケイサンようりん	5/17		60 Kg	0.00	0.00	12.00		アルカリ45%、けい酸2%、苦土12%
	魚沼ロマンベストS220	6/26		30 Kg	3.60	3.45	3.60	3.00	
基肥	味好特号	5/16		20 Kg	1.20	0.00	1.60	0.80	
	なたね油粕	5/16		40 Kg	2.00	0.00	0.80	0.40	
調整肥	けい酸加里フレア734	7/7		20 Kg	0.00	0.00		4.00	けい酸34%、苦土4%、ほう素0.1%
	マルチサポート2号	7/10		20 Kg	0.00	0.00			けい酸20%、苦土12%
穂肥	魚沼ロマン有機穂肥	7/22		20 Kg	2.00	1.26	0.80	2.40	
	味好2号粒状有機	8/8		15 Kg	1.05	0.00	0.30	1.05	
計						4.76			

農薬使用成分回数 慣行栽培基準比 4.3割 (①÷慣行栽培基準19成分回数)

肥料化学合成チッソ成分量 慣行栽培基準比 4.8割 (②÷慣行栽培基準10Kg/10a)